

# エコ. エコ (ecology. economy)

## 特定非営利活動法人 エコ. エコ

### 記憶の風景 (2) 野田のサギ山 (その一)

見沼たんぼが全国的に有名になった一つに野田のサギ山があります。サギ山というのは、農家の方々が屋敷を守るために植えたマダケや木々の屋敷林が遠くから見ると山に見えたことによります。この屋敷林に南から渡ってきたサギたちが営巣したのです。4月から9月までの間に、多いときにはサギ山に6000羽もいたとの記録があります。

昭和13年に野田村鷺繁殖地として国の天然記念物に指定され、昭和27年には野田村のサギ及びその繁殖地として国の特別天然記念物に昇格しました。戦後は、写真家田中徳太郎氏の功績も大きく国内外から多くの見学者が訪れました。

厚澤純子さん、原田昌代さん、その他、地元の皆さんに記憶をたどって頂きました。



ダイサギ・アオサギ・コサギ



ゴイサギ

戦前・・・子どもの頃は身長も低かったから、サギが飛び上がると大きくて怖かったです。頭に糞が落ちると本当にがっかりしたし、草履で歩くと糞が中に入ってきて気持ち悪かったです。サギの糞のせいか、井戸水はおいしくなかったのですが、それで病気になったという話は聞きませんでした。サギが糞をするところには、麦わらを敷いておき、後で肥料にしました。

戦時中・・・鉄砲の音か分かりませんが、大きな音がして、たくさんのサギが殺され、トラックで運ばれていきました。その作業は一日中続いて、子ども心に、サギがかわいそうだなと思いました。今になって、どうしてあんなにたくさんのサギを殺し、どこに運んだのか、何のためだったのか謎です。戦時中は食べ物がなく、サギの水色の卵を取ってきて焼いて食べました。サギの巣は高いところだけでなく、子どもの手に届くところにもあって、持てるだけたくさん取っていました。肉も骨も料理して食べましたが、ちょっと匂いがあり、あまり良い味ではありませんでした。

戦後・・・昭和29年頃だったか鳥を観るタワーが出来ました。そばに休むところがあって地元の方々の集まり「梅保志会、(うめぼしかい)の方々がお茶を出していました。鳥小屋があって、巣から落ちたサギを保護していました。

保護活動・・・野田小学校では子どもたちが、傷ついたサギたちの世話をしていました。五斗蒔き周辺の用水路で学校が終わるとドジョウ、タニシ、ザリガニなどを取ってきました。

翌日、学校に持って行き、サギたちの餌にしました。この仕事は「サギ当番」と呼ばれていました。

サギの営巣・・・斜面林でサギが巣材を運ぶのを何度もみました。

へたくそで途中で落としていたことが多くありました。

写真家田中徳太郎さんのこと・・・サギの写真を撮りに野田村に来た写真家の田中徳太郎さんは、私たち家族の写真も毎年撮ってくれました。今ではとても良い思い出です。



アオサギ



チュウサギ

※江戸時代から守ってきたサギを、戦時中大量に殺したのは、サギは白いので敵に標的にされなかったためだったと本に書いてあります。昭和13年に天然記念物に指定され、10年もたたない間に、巣を落としたり、サギを殺したりしたのです。戦争という行為は、守っていたものをあつという間に手放さしてしまう強い力があるのです。そのことをサギが教えてくれたように思います。

※最近決まった緑区の鳥が「シラサギ」です。鳥を専門にしている方は「シラサギという名前の鳥はいません」と言います。コサギ、チュウサギ、ダイサギの名前はあってもシラサギと言う名はありません。区の鳥がシラサギでいいのかと考えていましたが、いろいろ調べているうちに良いと思えるようになりました。ブナ科の木の実をドングリと言うように、シラサギという言い方は地元の人々の通称、愛称で、つまり愛情の証なのかとも思います。(続く)

聞き書きも含め文責 加倉井範子

参考文献 「シラサギ記念館」「さいたま市の歴史と文化を知る本」

「浦和市史 第五巻」「シラサギの詩」「シラサギの森」

写真 千葉博子 加倉井憲一

## 今後の予定



### 里山 com

里山、畑、湿地体験をします。  
時々、収穫物配布（タケノコ、ジャガイモ、サツマイモなど）、  
食（マシュマロ焼き、スモークなど）  
クラフト（染色、リースなど）などがあります。  
詳しくはHP（エコ.エコで検索）

◇日時 原則第1土曜日

13時15分～16時頃

◇集合場所 トラスト1号地東屋

◇参加費 一般家族 1000円

会員家族 500円

雨天時は第2土曜日に順延

4月2日 5月7日 6月4日

◇保険の関係がありますので、参加される方は事前に連絡してください。道具などはこちらで準備します。

### 観察会

小雨決行、荒天中止

○キャンプ場が取れたらプログラムを追加します。

◇集合場所 見沼自然公園入り口

◇時間 9時30分～11時30分頃

◇参加費 大人 500円

子ども 100円

(会員割引 大人300円)

3月27日 春をみつけ 野遊び

4月17日 春の食べられる野草をみつけよう

5月15日 植物の意外な力-薬になる植物



### マルコ保全

第2木曜日

第3金曜日

◇集合場所 トラスト1号地東屋

◇時間 9時～

◇参加費 なし

◇保険の関係がありますので、参加される方は事前に連絡してください。道具などはこちらで準備します。

活動を御支援ください NPO法人 エコ.エコ

問い合わせ先 メール kaerunomaru@gmail.com

Tel&Fax 048-874-9811 (加倉井)

寄付送金先 エコ.エコ 郵便振替 0110-0-711005



<http://members3.jcom.home.ne.jp/kaerunomaru/>

kaerunomaru で検索